



医療生協かながわ生活協同組合

中田診療所だより

2021年6月25日発行

発行 医療生協かながわ生活協同組合 中田診療所 2021年
横浜市泉区中田東3丁目3番27号
電話 045-802-2840 FAX 045-803-0716 7月号

6月から開始した中田診療所でのコロナワクチン予防接種は・・・・

6月21日からは内科に毎月定期通院されている70才以上の方を優先しながら、診察時に接種の予約をとっています。その後7月に入ってからは優先予約対象の年齢を引き下げていく予定です。それ以外の方々（定期受診以外・未通院の方、年齢の若い方など）の接種予約開始時期は8月頃を想定して準備をすすめています。予約方法も含めた詳細は『中田診療所だより8月号』や診療所玄関前などの張り紙、ホームページなどでお知らせいたします。これらの時期に予約される方の第1回目の接種時期は9月下旬以降となる予測ですので、それより前に接種を完了しなければならない事情のある方は他の方法（集団接種・大型接種会場・その他の個別接種会場）での接種をお願いします。より多くの方々が早く接種できるよう、すでに他の会場で予約が取れている方は、そこでの接種をしていただき“2重予約”は絶対におやめください。

ワクチン接種予約をめぐって、この間に出来られているご意見に対して

『（中田診療所に）通院しているが、一刻も早く予約したいので来院したいのだが・・・』

『なぜ今、予約がとれないんだ？・・・』⇒ 「早くワクチン接種の予約を済ませた



い」というお気持ちちは重々わかりますが皆様方が一斉にこうした動きとなって診療所窓口に押し寄せられると、業務が混乱して収拾がつかなくなってしまいます。ワクチン接種予約の問い合わせ電話が集中した5月下旬では、電話対応に追われて3週間ほどは通常業務ができませんでした。

(＊表面より続く) こうした事情をお察しくださるようお願いします。
「医療生協に加入し、時おり増資にも協力していたこともあるのに・・頼りないなあ・・」
「家族が透析の治療をして一刻も早く接種したいのに、(中田診に)かかっていないからダメなんて・・」
「家族が身障者なんだ。医療生協なのに融通がきかないのか・」

私たちの応答を聞いて、皆さん方の中には不愉快な思いを持たれた方にはお詫び申し上げます。しかし、時には罵声を受けながらも、皆様方の苛立ち・不安な想いを受け止めて対応する当診療所職員は真摯にお応えしてきたつもりです。しかし、このような事態を作り出している大きな要因は、別は所にあるのではないかでしょうか？ かつて多くの反対・危惧の声のもとで強行した全国各地の保健所などの統廃合の影響を受けたことは間違ひありません。また、予約の時に話題となった。IT問題。一般的に高齢者の方々は、スマホやコンピュータなどを使いこなしきれない方々が多いこと、横浜市は全国最大の対象人口数であるのは分かっていたにもかかわらず、予防接種担当現場の実態把握が不充分なまま、これらの実務を丸投げしている行政の問題は大きいと思います。障がいを持っている方々や、いわゆる社会的弱者になってしまふような方々のワクチン予約などは、他の誰よりも、行政サイドで真っ先に保障しなければならなかつたと思います。

『・・・7月末までに接種を希望する高齢者の方々は終了する見通し・・』など、確固な情報把握のないままコメント発信して私たち市民を大いに不安がらせる結果を作り出している 横浜市長の責任は重大だと思います。もちろん、オリンピック開催に固辞して各自治体担当者を通り越して圧力をかけている 菅首相をはじめとした官邸の暴走に振り回されているであろう、自治体労働者の苦労もただならぬものがあると思いますが・・。

先日、横浜市は 64 才以下～12 才までの市民へのコロナワクチン接種券の配布を段階的（1週間ごと）に7月末までに順次郵送していくとの記者会見をしました。これらが実施されると、ワクチン接種申し込みをめぐる混乱が再び引き起ってしまうことも予想されています。

ともかく私たち中田診療所でのコロナワクチン接種の取り組みは、横浜市の“業務委託”ではありますが、あくまでもワクチン接種を推進する「協力機関」の立場です。予約を優先している通院患者さんの見通しが出てくる来月以降について、接種の実施はだいぶ先の時期となってしまいますが、接種予約を取り切れずに不安な日々を送られている方々、64才以下の方々も含めた予約受け入れも含め、安全性を重視しながら地道に推し進めていきたいと考えていますので、今後ともご理解ご協力のほど、よろしくお願ひします。

中田診療所事務長 福田

今年度最初の日曜組合員健診は、8月29日(日)です。詳細は別紙参照

氏名 河野 順済（こうの じゅんさい）
職種 医師（副所長）

《 ごあいさつ 》

初めまして。令和3年4月に赴任しました河野 順済（こうの じゅんさい）です。

私は、東京医科歯科大学附属病院 第一外科の外科医でした。主に消化器を診ています。専門は、食道、胃です。

小さな症例から大きな症例を数千手術してきました。腹部（肝胆脾・腎臓・泌尿器科・婦人科）から甲状腺・乳房・血管を診てきました。無医村・離島の経験もあります。無医村に引っ越した直後、妻から『もう横浜に帰ろうよ』と言われた時は、ビックリしました。妻は、しぶしぶ我慢して着いて来てくれていたと思い、反省しています。無医村には、救命器具・必要薬剤も何もなく、診療所にあったのは、初期の内視鏡と古い超音波と単純レントゲンと心電図と診察台が2台でした。病院に救急搬送するには、2山を越えて町の病院まで心臓マッサージをしながら1時間以上掛かってたどり着き、帰りは救急車で診療所まで送って貰っていました。今では、自動体外式除細動器AEDがありますが、あの頃は、まだ無い時代で、気管にチューブを挿管して心臓マッサージを余儀なくされました。近隣に小児科・脳神経外科・整形外科・産婦人科があればと、思った事がありました。

村の人は、病気になんでも我慢し、診療所に運んで（“無医村”地域勤務時代↑）来られた時は、悪化状態でした。なんとか救急手術器・必要薬剤・酸素・ベッド・内視鏡と超音波を手に入れ、小手術や中心静脈埋め込み術・胃瘻造設術なども出来る様になりました。最後には、ベッドが6台・看護師が4人・医療事務が2人・リハビリPTも入るようになり、外来患者数は、1日40人以上を超える様になりました。医師は私1人なので、診療所で治せる患者さんには、泊って頂き、寝泊まりをし、診てきました。病気でも無いのに相談事に来る人や待合室では、井戸端会議になり、朝は、7時から診療所が開くのを気長に待って下さる人もいました。

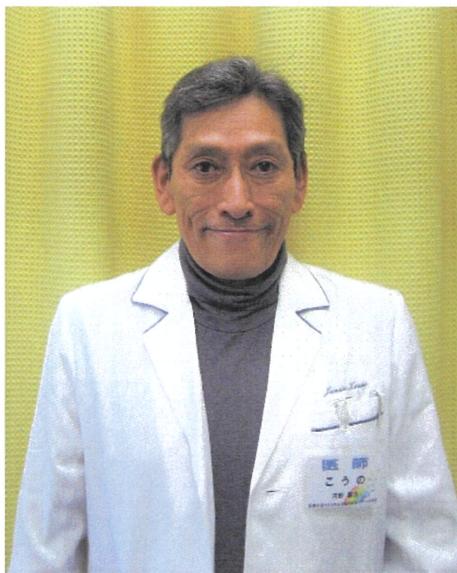
村の人達は、皆良い人で、最後には何でも言える仲になっていました。皆さんから「病気ならしょうがない」「奥さんを助けてやれ」と言って下さいました。胸が痛くなりました。別れるのが辛かったです。今でも忘れません。最後の往診・学校検診・診療の時、子供達・村民の人たちの事を考えると涙が出て仕事になりませんでした。この経験は、病院勤務での診察より今の診療の糧になりました。



時間を掛けて診る・話をする・見て触って・聞いてが当たり前のようになり、一人の患者さんに時間を掛けてしまうようになり、早く診て欲しい患者さんやクリニックのスタッフから苦情もありました。でも、私は思います。町医者は、一次救急で早期発見・早期治療が必要です。患者さんは、聞く知る権利があります。医者は、診る義務があります。

東京に帰省して驚いたのは、首都圏なのに在宅診療などが遅れている事と退院後のケアが出来ていない事と病院の救急受け入れ拒否です。病気は、待ってくれません。我慢しないで下さい。私は、大丈夫と思わないで下さい。病気は、ある日突然やって来ます。悪くなってからでは、遅すぎます。入院・通院期間が長くなり、自分自身・家族にストレスが溜まります。また、介護費用や医療費用が掛かり、経済的にも負担が掛かります。受診したくても、医療費・介護費用などの負担で病院へ行く事も出来ない人が沢山います。経済的負担を増やさない為にも、早めに病院・クリニックの診察と検査をお勧めします。救急車でたらい回しにならない様にも皆さんに日頃から生活習慣の改善を希望します。

私は、オールマイティーでは、ありませんし、失敗もあります。何でも良いですから遠慮なく接してきて下さい。ご迷惑をお掛けしますが、宜しくお願ひします。



*中田診療所での河野先生の外来は、月曜日（午前）、火曜日（午前午後）、水曜（午前）と、金曜日（午前）です。往診訪問診療は、金曜日（午後）を予定しています。ただし、7月中（7/5～7/31）は、間接の手術療養のため、休診となり代わりの先生の診察となりますので、ご注意ください。

【中田診療所 診療体制表】

2021年7月～

*河野先生は7/5～7/31の間は療養治療のため、休診で代わりの先生の診察となります。

	月	火	水	木	金	土
午 前	加藤 (循環器予約)	加藤 (循環器予約)	石橋	加藤 (循環器予約)	石橋	河合
	* 河野	* 河野			* 河野 (1・3週)	
午 後 13時半～16時半	富田	* 河野		富田	近藤 (DM予約)	橋元 (2・4週)
				森	加藤	
				山崎 (整形)	河合	

今日もいきいき・あったか♪ 中田デイサービス通信

～「楽しかった、ここが好き」～



梅雨のころ皆様健やかにお過ごしでしょうか。此のところの夏の暑さはまさしく酷暑、梅雨時の雨もしとしと降るものではなく激しさを感じます。

毎年数十年ぶり等の前振りで豪雨被害や気候変動のニュースを目にします。人の暮らし向きも気候も変化があり、生きていると退屈する間も無いですね。

利用者様ですがコロナのワクチンを打った方、予約をした方増えました。昨年の春先から着用しているマスクを外してお顔合わせおしゃべりしたいですね。デイサービスでは密接、密集を避け換気をして利用者様に身体や頭を使って感情を豊かに楽しく過ごして頂ける様にスタッフ一同日々奮闘しております。

午後のリハビリ体操やリクリエーションの担当スタッフは懸命に各自工夫を凝らします。また、入浴待ちの時間や昼食前等の短

い時間でもリズム体操や脳トレ、しりとりなど利用者様に楽しんで頂くよう努めています。芸達者で引き出しの豊富なスタッフが多く居りますので芸の無い私も学べます。お帰りの車中で、利用者様に「今日も楽しかったですか?」と伺うと皆様「楽しかった、ここが好き」といわれます。本当に嬉しく有難いです。

利用者様との出会いは心が動きます。それぞれの生きて来られたお話は面白く為になります。様々な事情で利用終了になる方もいます。楽しくて少しせつない温かい思いを残してくれます。スタッフも皆ここが好きです。利用者様に笑顔で楽しかったと明日も思って頂けるよう努めます。

これからもよろしくお願ひします。
益々暑さ厳しくなりますので充分にお体ご自愛下さい。

岡崎

デイサービス利用者さん募集中! 見学相談受付中。お問合せください。

実施曜日 : 月~金(祝日も営業)

送迎エリア : 泉区・戸塚区一部

主な内容 : 入浴・食事・音楽療法・囲碁や園芸などさまざまな活動。

医療生協の健康づくりを理念に、一日を通して生活リハビリを行っています。